

自然を守る農家

花の木小学校 小三 稲葉 十知妃

みなさんは、お米とパンどちらが好きですか。
私はそう聞かれたらお米と答えます。たまたまのあつあつのごはんは私の心をあたためてくれます。

ある日の朝ニュースを見ると、田んぼの中にすんでいる絶滅危惧種ちめつきぐんしゆのトウキョウサンショウオについて流れていました。トウキョウサンショウオの形は、ウルパールーパの形に似ています。色は、黒色です。大きさは、十センチメートルぐらいです。昔から田んぼや川に住んでいました。たが今ではとても数が少なくなっているようです。

その理由は、田んぼのいねをくいちらがすジャンボタニシという生物せいぶつがいるからです。そのため農家は農薬を使ってジャンボタニシをたいじしています。ですがトウキョウサンショウオは、農薬に弱いのでそれがいなくなると数を減らしているのです。

そこでトウキョウサンショウウオをまもって
いる大学生の研究生の人たちが農薬をつか
ないでジャンボタニシをつかまえるトラップ
をつくり、それを農家といっしょに協力して
田んぼにしかけるとり組みを始めました。す
るとたくさんの方々が協力してくれました。
。アライグマにいたずらをする人もあり
ますが、よいとりとみだなと思いました。

秋は、ジャンボタニシのことも、トウキョウ
ウサンショウウオのことも、知らなかつたので
、とてもよい勉強になりました。トウキョウ
サンショウウオがたくさんふえたらうれしいな
と思いました。ただえさ米づくりは、たい
へんそうなのにな、小さな生き物をまもりな
がら、米づくりをしている農家の方々は、自然
を守る神様に見えました。